

2015 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	日 本 語 日 本 文 学 科 科 目
-----------	---------------------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

今回の結果は、すべての項目に関して、昨年度以上の結果となり、改善が見られた。

平均値で言えば、⑤「教員の話し方は聞き取りやすい」が 4.21 (4.11=全学)、①「授業内容が理解できた」が 4.17 (4.13=全学)、③「知的好奇心が刺激された」が 4.15 (4.05=全学) と評価が高いことを考えると、全般としては、日本語日本文学科科目は適切な水準のものが提供されていると言えるであろう。①「授業内容が理解できた」については、89 科目中 73 科目が 4 以上の値になっている。

ただし、一部ながら評価の低い科目がある。全項目の評価を平均した値でいうと、89 科目中、3.5 を下回る科目が 11 科目、うち、3 を下回る科目が 2 科目ある。設定するレベルの高さ、受講者数などの要因を考慮する必要があるが、特に評価が低い科目についてはその原因を明らかにし、改善にむけてサポートをすることが必要となろう。

②「意欲的に取り組んだか」は 4.12 (4.13=全学) と全学平均と大差ない。しかし、例年のことながら、④「授業外学習」が、平均値で 0.54 (0.69=全学) と全学と比較して低めである。特に、平均が 0.2(=12 分)を下回る科目が、「日本文学の世界」など 6 科目ある。リレー講義などの特殊事情のある科目もあるが、教員側が授業内容を工夫するだけでなく、学生自身に意欲的・自主的に学習させるような、やる気を起こさせる授業が必要となろう。

なお、DWCLA10 においては思考力と分析力が身についたという学生が他学科と比較して多いが、学科の性質上、当然であろう。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター